

会 議 録 (要点筆記)

会 議 名	第1回 米原市幼稚園の在り方検討委員会
開 催 日 時	令和3年7月28日(水) 19時00分～20時30分
開 催 場 所	米原市立山東幼稚園 かもんほーる
出席者および欠席者	出席委員：7人 西川正晃委員(会長)、馬淵孝子委員(副会長)、 阿原光宏委員、竹中礼子委員、金澤博文委員、北川真依子委員、 高橋容子委員 欠席者：1人 千葉泰治委員 事務局： 平尾道雄市長、立木ひろみくらし支援部長、 口分田剛こども未来局長 保育幼稚園課 小寺真司課長、山田直樹課長補佐、今村親雄課長補佐、笈諒真
議 題	1 米原市幼稚園の在り方検討委員会の設置の経緯・目的について 2 今後の進め方(案)について
結 論	・様々な意見、立場を含め幼稚園を今後どうしていくのか議論する必要があるため、次回はアンケート調査の内容について審議を進める。
審 議 経 過	1 開会 (事務局より開会あいさつ。) 2 市長あいさつ 本日は「米原市の幼稚園の在り方検討委員会」を開催させていただきました。お顔拝見させていただきますと、それぞれのお立場で米原市政に御協力・御支援賜っている皆様でございます。よろしくお願ひします。 就学前の教育・保育の課題と言うのは大変な変化をみせる時代になっています。一つは令和元年度に国により幼児教育・保育の無償化が実施され、全体的に子育て支援の一元化が行われているところです。これについて米原市は一步前へ出て幼保一元化を進めてきた経過もあり、私自身子育てしやすいまちを作ることが行政の大きな課題であると考え、国の無償化に先駆けて、保育料の第二子以降の軽減を実施し、中学生までの医療費の無料化についても議会の御理
市長	

	<p>解を得て実施して参りました。</p> <p>また、民間園を含めて認定こども園の幼保一体化の施設整備についても総合的な支援策として取り組みをしてきた経過がございます。</p> <p>その中で社会が変わり、両親共が働いている世帯が増加し、認定こども園・保育所の保育需要は増加傾向になっています。</p> <p>反対に幼稚園就園希望者というのは年々減っていて、就学前教育・保育に対する需要の変化により、今の山東幼稚園の状況となっています。</p> <p>また山東幼稚園は建築後 18 年を経過したということで、施設の老朽化により負担が増加しています。</p> <p>そういう状況も含めて今後の市内の幼稚園の在り方について、当事者、利用者、そこに思い入れがある市民の皆様の御意見を聞きながらこの問題の解決に向けて在り方検討委員会を設置しました。</p> <p>米原市の子どもたちの望ましい教育と保育の就学前の在りようについて議論いただき、違った形で園舎の活用や、あるいは就学前の教育・保育の課題についての皆様方の御意見や御提言を参考にしながら、子育てしやすいまち米原の実現をさらに進めていきたいと思っています。今後の在り方の検討委員会の議論にそれぞれ、専門的な立場から積極的な御参加・御意見いただくことを、心からお願いいたしまして開会に当たりお願いと御挨拶とさせていただきます。</p> <p>3 委任状交付 (市長から交付)</p> <p>4 自己紹介 (本日出席の検討委員会委員および事務局の自己紹介)</p> <p>5 幼稚園の在り方検討委員会の役割等について (事務局より、委員会は公開が原則であることを説明し、今回の検討委員会は条例に基づいて置かれたものであり、幼稚園の今後の運営の方向性に関し調査審議することを目的とする委員会であることを説明)</p> <p>6 会長、副会長の選出 何か良い選出方法などがございましたら、御提案いただきたいと思います</p>
事務局	
事務局	

	存じます。なお、会長におかれましては今後の議事進行をお願いしたいと存じます。
委員	事務局に何か案があるのであれば、お願いします。
事務局	事務局の案は会長には西川委員、副会長には山東幼稚園園長経験者の馬淵委員にお願いしたいと存じておりますが、いかがでしょうか。
委員	(各委員から異議なし。)
事務局	異議が無いようですので、会長に西川委員を、副会長には馬淵委員をお願いしたいと思います。会長と副会長から一言御挨拶をいただけたらと思います。
会長	会長に推薦されたのは、米原市で子ども・子育て審議会の会長を長年させていただいておまして、子育てに関わる部分で色々な意見を知っていることからだと思います。皆様のお力無くしては進まないこの会議です。どうぞ御協力いただきますようお願い申し上げます。
副会長	開園のときに関わらせていただいてそしてまた山東幼稚園の節目の時にこうして関わらせていただけることを嬉しく思うと共に緊張するという言葉が一番ぴったりかと思えます。市内の就学前の教育・保育の在り方に向けても、また子育て支援という考え方に向けてもこの園が有効に活用されることを願っているものです。皆様と共に考えていけたらと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。
	7 市長から委員会への諮問 市長から会長に、諮問書を手渡し (市長退席)
会長	8 協議事項 それでは、「(1) 米原市幼稚園の在り方検討委員会の設置の経緯・目的について」、それから関連する「(2) 今後の進め方(案)について」

事務局	<p>て」は事務局から説明をしていただきたいと思います。</p> <p>(資料2、3について説明)</p>
会長	<p>説明いただいたのは市内の就学前教育や教育・保育施設の現状と山東幼稚園の現状と課題について、そこを明らかにした上で今後の進め方の案について一括で御説明いただきました。委員の皆様から御意見・御質問などお願いいたします。</p>
委員	<p>一番初めにこの話があったのが6月の環境美化活動での保護者さんからの話です。私もその時は知らされておらず、保護者の中でも山東幼稚園の今後を心配する声が強かったので、市に問い合わせさせていただいたところ、こういうことをすると説明がありました。</p> <p>市の保護者説明会をしてもらった時も保護者の中にはきょうだいも入園させたいので、この委員会で山東幼稚園が存続するようにして欲しいという声もあります。</p> <p>保育料が無償化されてから山東幼稚園の利用者が減っていると思います。幼稚園、保育所が全部無償化なので、長い時間預かってもらえる保育所を利用する方が多いと聞きます。先程も市長がお話しておられましたが、昔と事情が変わり夫婦で仕事をしなければ生活ができないという家庭が多くなっていて幼稚園の預かり時間では利用できない実情があり、この資料にはありませんが、無償化になったことで幼稚園が存続できない状態になったと私は思っています。</p> <p>幼稚園も段階もあると思うんですけど、8時から預かってもらって夕方6時まで預かってもらえるような形になれば人は増えると思うんです。聞いている中では山東地域の方で奥さんが近江地域や米原地域に勤めているので、山東幼稚園は2時までしか預かってくれないことから、米原・近江地域の認定こども園を利用するという話も聞いています。予算などから認定こども園にしてもらうのは難しいかとも思いますが、幼稚園の預かる時間を延長すれば、人は増えるのではないのでしょうか。</p> <p>保護者の中でも山東幼稚園続けて行きたいという意見もたくさんあり、嘆願を出してでも維持したいという保護者もいますので、1人になっても議論していきたいと思います。以上です。</p>
会長	<p>存続して欲しいという強い意見があるということと、その一つの</p>

委員	<p>方法として預かり保育を実施していくということでもあります。実は私も色々な場で「在り方検討委員会」によく似た事例に関わらせていただいているのですが、幼稚園は令和元年からの無償化によりかなり人数が全国的に減っているのは事実としてあります。そして、無償化に加え、少子化と女性の働き方の80パーセントというピークが来ているので、もうこれ以上保育ニーズも限界に来ているということが全国的にニーズ調査で明らかであり、今後保育所事業の数は減っていく事実を押さえる必要があります。</p> <p>米原市の幼保一元化を推進する流れの中で、山東地域は公立園としては、幼稚園しかなかったので、他がすべて民間園であり、それを統合することは難しいため、最後に残ってきているという経緯があります。だから、米原市の幼保一元化の推進の中で幼稚園のことをどう考えるかということが一つあります。</p> <p>また、認定こども園化ということで、先程時間の延長の意見もありましたが、一般型の認定こども園ではなく、幼稚園型というスタイルもあります。また、未就園の子育てをしている保護者さんたちにとっては、子育て支援センターというのはすごく重要な所だと思っているのですが、このコロナ禍で一つの施設には1週間に1回しかいけないということで、市内の支援センターを渡り歩いておられる現状があります。そうしたことを考えたときにこの山東幼稚園を利用できないかと強く思います。園としても残して行きたいし、もっと他の人にも広く使うという使い道が考えられないかと思っています。</p>
会長	<p>認定こども園のスタイルとして幼稚園型もあり、園の機能を強化して行く考え方もあるという御意見ですね。</p>
委員	<p>地域の子どもは地域で育てようということがずっと前から言われています。今お話を聞いていますと、時間が早い遅いということで自分たちが行く小学校でないところの地域のこども園を選択されていると。それも一つの方法だと思うんですがやはり地域の子どもは地域、同じ学区内で温かく安定感、安心感を育てることを大事にして考えていくというのもひとつではないかと。</p>
会長	<p>そこで大事に育てていくことが大事ですよということですね。</p>

委員	<p>私が元々いた地域では、親として考えのあった幼稚園・保育所を選択できますが、米原では学区で決まった流れの中で、教育理念というより自分たちの生活の方が優先されるという印象を受けてしまっています。</p> <p>また、この山東幼稚園と天狗の丘は維持することに価値があり米原市としてシンボリックなもので、私はアピールになるものだと思います。</p> <p>私は子どもにシュタイナー教育を経験させたいので、那須にあるシュタイナー幼稚園に1か月体験させたいと思っています。クリエイティブな仕事をされている方や、コロナ禍でパソコンを使ってどこにいても仕事ができるということで、今、東京から離れたたいという方はたくさんいると思います。特色を持った保育を実施し、その方々に対してホームページで環境と理念をアピールすることで、移住を考えるきっかけにできないかと思っています。</p>
会長	<p>特色を出して、存在意義を発揮するということですね。以前私が関わらせていただいたもので、「もりのようちえん」の実施を全面に出して人数を集めておられるということもあります。</p>
委員	<p>今説明を聴かせていただいて、二点どうなのかなと思うことがあります。一つは保護者の経済的な負担ということで民間園・公立園に関わらず考えることが大事なのではないかと理解をしました。</p> <p>もう一点は先日、山東幼稚園の人権教育の内容を聞かせていただいたんですが、その内容は人権感覚を磨くためにわざと子ども同士を対話させて、悪い言い方をすると揉めさせて、その中で子どもたち同士が解決させるようなことを意図して仕組んだものでした。大変すばらしい実態だと思い聞かせていただいたんですが、そういった独特の立派な保育をされているのは、幼稚園だからできることがあるのかとか、今後教育的な視点も含めて考えていく必要があるかと思いました。</p>
会長	<p>今の御意見のとおり教育・保育の質という部分で検討していく必要があるのかと思います。</p>
委員	<p>このあたりでは最初は保育所に行って、そのあと1年を幼稚園に</p>

会長

行って就学するというのがルールだったんですが、幼稚園の降園が2時のため、預け先に困った保護者さんがおられたことから、平成10年頃からだと思うんですが、5歳児の子どもたちが保育所に来るようになりました。

山東地域内の民間園は自治会で建っている保育所とお寺が経営する保育所があり、地域の児童福祉を担ってきた状況だったんですが、5歳児の預かりにより付近の幼稚園が成り立たなくなり、統合しようということで、この山東幼稚園が建設されました。この時に私たち民間園は市と4、5歳児のみ保育し、絶対3歳児保育はしませんと約束をしましたが、山東幼稚園の定員が減ってきたので、3歳児保育をすることとなり私たちは約束違反ではないかと反発しました。

なぜなら、私たち民間園は、子どもの数で保育士定数が決まりますので、子どもが来てくれなかったら自分たちが働く場がなくなるからです。

園では保護者さんが選んでくださる保育所を目指さなくてはいけないので、全国色んな保育所を回り、県や全国などで保育内容を発表するなどし、特色ある保育の検討を行っています。それは、他の民間園も一緒だと思います。

また、市内各地域で統廃合が進んでいた時に、園舎を新しく立て替え、認定こども園ができないかという意見もありましたので、当初は保育所でしたが、令和2年度から認定こども園にしました。このことにより、幼稚園に行かなければ保育ができないお子さんもお預かりさせていただけるようになりました。

私たち保育所で仕事をしている者は、選んでもらえる保育を目指そう、特色ある保育をしようということで、努力をしてきているということを知っていただければと思います。

資料2にもありますけれど、いわゆる山東地域には民間の保育所、こども園の3つ、そして公立の幼稚園が1つありますが、今の話というのはそれぞれの園が、それぞれ頑張っていて質を高め、特色を出しているということですね。

始めてではありますが、それぞれ委員の皆さんが熱い思いを持っておられることが伝わってきました。

今後の進め方としてアンケート調査、広く、色んな方の御意見を聴取するという事だと思うんですが、これについて何か御意見は

	<p>ありますか。</p>
委員	<p>まずは山東幼稚園の保護者にアンケートをしてもらう方がいいと思うんですが。</p>
会長	<p>アンケート調査は山東幼稚園の保護者だけではないんですよ。</p>
事務局	<p>山東幼稚園の保護者も含めて、山東地域の学区外の方からもアンケート調査をさせていただきたいと思っていますところですよ。</p>
会長	<p>まず、保護者さんに聞いて欲しいということですが、9月の次回会議で議論ということですよ。</p>
委員	<p>アンケートを取る対象者は考えなければならないと思います。山東地域の方でも認定こども園や保育園に希望しているのに入園できずに伊吹地域や近江地域の園に行っている方もいると聞いているので、その方々の思いもお聞きする必要があるかだと思います。</p> <p>もちろん、山東幼稚園の保護者さんもです。</p>
委員	<p>山東幼稚園利用者には希望園に入園できなかったため、利用されている方もいて、今年1年のみ利用する方もいると聞いています。</p>
委員	<p>地元の園に入れないので、空きがある園で預かるということは民間園でもあります。</p> <p>預かる子どもは3歳未満児が多く、低年齢児が多いと保育士も多く必要であるため、運営・保育の面では厳しい場面もあります。</p>
会長	<p>進め方としては、アンケートをしながら様々な方の思い、立場を含め今後どうしていくのかという方法について概ね了解されていると思いますので、9月上旬にアンケート調査の内容、回収も含めて議論することになるのかと。</p> <p>それと子ども・子育て審議会でも第2期の子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ調査で、保育のニーズ、子どもの数の推移というのはだいたい令和7年までのものが各地域別に出ていると思いますので、現実的に子どもがどれだけ減っていくのかそのあたり客観的なデータの提供を検討していただけますでしょうか。</p>

事務局	<p>子ども・子育て支援事業計画では、米原市全体としての保育の受皿についてであり、一つになっています。</p>
会長	<p>子どもの数、保育ニーズがどれだけ減ってくるのかということを数字で提供いただければと思います。</p> <p>最後に何かありませんか。</p>
委員	<p>修繕に1億2千万円かかるということですが、応急処置などでコストを抑えていけないのでしょうか。</p>
事務局	<p>1億2千万円と提示させてもらっている修繕の内容というのが、腐食した外壁を修繕するのに木材で修繕しては同じことの繰り返しになるので、木によく似た樹脂の素材で張り直した場合の仕様としてこれだけかかります。あと屋根の塗装が剥がれてきていますので、屋根の塗装とかを全部させてもらった試算として1億2千万円かかるということで、提示させてもらっています。</p>
委員	<p>本来ならもっと早くから、少しずつ修繕してもらおうとよかったのですが、各地域での認定こども園化で4園設立のために経費がかさんでしまうので、幼稚園もというところまでは難しいという経緯はあると思います。</p>
会長	<p>修繕に1億2千万円必要だとしたら、市として出せるんですか。</p>
事務局	<p>市の内部で決定し、議会で審議され必要性が認められた場合ということになります。</p>
会長	<p>御意見いただいた中では、様々な立場での御意見はあると思いますが、総じて言うとやはり、質は担保しなくてはならない。質は担保しながら特色、子育ての機能ということを加味しながら考えていく必要があるのではないかとということ、御意見として頂いております。現状を見ると課題というのも多いんですけど、やはり今後どういうふうに在り方として考えていけばいいかということについて次回アンケート内容を御審議いただくことになっていきますが、よろしいでしょうか。</p>

	<p>(意見なし)</p> <p>それでは、御意見もございませんので、委員会次第7.「その他」について、事務局から御説明お願いいたします。</p>
事務局	<p>9 その他 (次回日程調整の方法、本日の提出書類について説明)</p>
事務局	<p>10 閉会 (事務局より閉会あいさつ)</p>